

豊昇地区

懸案の放置廃棄物解決に向かう

第二回定例会

6月定例会は6月4日に召集され、14日までの11日間の会期で開催された。平成22年度一般会計補正予算をはじめ、条例案3件、予算案5件、専決処分事項の報告13件など町側から提出された議案22件、報告2件を原案どおり可決・承認した。また、陳情1件が提出され受理し、審議の結果採択した。

質

疑

22年度一般会計補正予算

◎ 豊昇地区放置廃棄物処理事業補助金、廃棄物であるから、県が責任を持って片づけるべきものを町が800万円出して片づける根拠は。

▲ 豊昇区湯川沿い私有地に、東亜環境が昭和63年10月より、県の許可を受け、産業廃棄物や一般廃棄物の搬入を始めたが、年々ごみの量が増加し、放置されたまま山積み状態になってしまった。

県から再三の改善命令にも一向に改善されず、平成17年7月、倒産し最悪の状態となった。

態となった。

県費による撤去を求め協

◎ 当時町は、県に要望しているだけでは進まない町と県、地元の皆さん初め、延べ350人以上が参加してごみの撤去作業を平成17年11月と12月に4日間実施した。

議してきたが、処理できない状況になった。こうしたなかで、県が実施している元気づくり支援金事業を使って、問題解決の提案があり、協議した結果、豊昇区が主体で、「湯川ふるさと公園整備事業」として、元気づくり支援金事業に申請することにした。

その後県は、処理を東亜環境に委託した事業所に撤去費用の協力を求め、土地所有者の平元商店と処理を進めてきたが、廃棄物が約5千700㎡という膨大な量のため、すべてを処理する費用を集めるには限界があり作業が進まなくなった。

美しい自然環境を守って

県から再三の改善命令にも一向に改善されず、平成17年7月、倒産し最悪の状態となった。

美しい自然環境を守って

◎ 町の出す補助金、今年度は800万円だが、次年度以降の金額は。

▲ 今年度は800万円、次年度1千万円、最終年度は1千200万円、合計3千万円の予定である。

◎ 杉の子幼稚園建替え補助3千万円の根拠は。

▲ 昭和50年開園以来、町の幼児教育を

いきたいという豊昇区民の切実な思いを、町として受けとめ決断した。

支えてきた幼稚園が今後においても安定的に、健全な園運営が行われるよう園舎建替えに補助していく。施設面積は約920㎡、事業費は約2億3千万円で国の補助を3千570万円見込んでいたが、国の補助がなくなり、町が3千万円を補助することにした。



建替えはじまる杉の子幼稚園

一 般 質 問

質問議員 7名

古越日里
仁科英一
市村千恵子

小井土哲雄
内堀恵人

東口重信
朝倉謙一

質問事項（本号掲載以外のもの）

- 交通の妨げになる道路沿いの木障切りについて（古越日里）
- しなの鉄道列車増便事業について（小井土哲雄）
- 新学習指導要領（脱ゆとり教育）の実施準備状況等について（仁科英一）
- 御代田町農業振興地域整備計画について（内堀恵人）
- 職員のやる気について（朝倉謙一）
- 安心して子どもが産めるために（市村千恵子）

職員の資質向上と責任は

各種研修会を重ねて身につける

古越 日里 議員



問 4月1日に人事異動が行なわれ、新規職員8名が採用された。職員の適材適所をどう考えているのか。
また、町長の人事異動は適切であったのか。
職員の町民サービスに対する資質の向上と担当の仕事上の責任をどう認識させていくのかを問う。

総務課長 新規採用職員の研修は、消防署への教養訓練として、21年度から規律、救助の各訓練と普通救命講習会等を行っている。

県市町村職員研修センター主催の研修会にも年2回参加している。また接遇や情報セキュリティ等の研修会には、19年度45名、20年度39名、21年度49名が、より専門性の高い知識を得るための研修を受けている。

この5月からは、各課の朝礼で、各係のスケジュール

ルを報告していたのを改め、毎日交代で、その日の業務計画を発表する方法にした。各課の職員全員が目的意識を持ってその日の業務にあたることを目的に始めた。

町長 御代田町は人口1万人当りの職員数が約63人と少ない中、頑張っている。御代田町のような小さな自治体では、専門的な仕事よりも、一人が何役もの仕事にかかわられるオールラウンドが求められる。

適材適所を優先すれば、ある偏った一部の仕事にかかわることになるので、できるだけ幅広い業務内容を経験するほうが、全体の奉仕者となり、町民のために尽せる。

